

研修のお申込み

定員 30 名、書類選考とさせていただきます。下記お申込み欄に必要事項ご記入の上、履歴書と併せて FAX または 郵送で下記までお送りください。なお、履歴書は所定の書式のものをご用意いたしましたので、下記 URL よりダウンロードしてください。

http://www.npo-jam.org/rirekisho/

応募締切は 2015 年 1 月 13 日(火) 必着 です。

※ お申し込み受け付け後、選考の上、受講票を 1 月 20 日までにメール (または FAX) にてお送りいたします。

※ なお、メンタルケア協議会非常勤相談員の採用には、別途選考がございます。

お問い合わせ・お申込みは……

特定非営利活動法人
メンタルケア協議会
Japanese Association of Mental Health Services

東京都渋谷区代々木 1-57-4 ドルミ第 2 代々木 2 階
TEL : 03 (5333) 6446 FAX : 03 (5333) 6445

東京都 自殺防止のための 電話相談技能研修

2015年
1月～3月

のご案内

電話相談員として働きたい方たちへ

東京都では、自殺防止対策の一環として、電話相談窓口「自殺相談ダイヤル～ここらといのちのほっとライン～」を平成 22 年 4 月から開設しています。

この電話相談に従事する相談員 (非常勤) を育成するための研修を下記のように行います。

この研修を受講できるのは、平成 27(2015) 年度から電話相談員 (非常勤) として働きたいと考えておられる方です。

意欲溢れる方々のご応募をお待ちしております。ぜひ参加をご検討ください。

なお、受講された方全員が相談員として採用されるわけではありません。

定員を超える応募があった場合には、2015(平成 26) 年度に相談員 (非常勤) として働くことが可能な方を優先させていただきます。

研修内容

- 基礎知識習得のための講義
- グループによるロールプレイ
- 相談現場における陪席及び実務体験

研修内容について、詳しくは次ページの「研修日程」をご覧ください。

◎修了証の発行

必修項目を含む 8 単位以上を受講した方には、修了証を発行します。

研修会場ご案内

講義とグループロールプレイは下記のいずれかで実施します
(※研修日程参照)

全理連ビル 9F 貸会議室 (代々木)
東京都渋谷区代々木 1-36-4

- JR 山手線・総武線 代々木駅北口
都営地下鉄大江戸線 代々木駅 A3 出口
より徒歩 30 秒

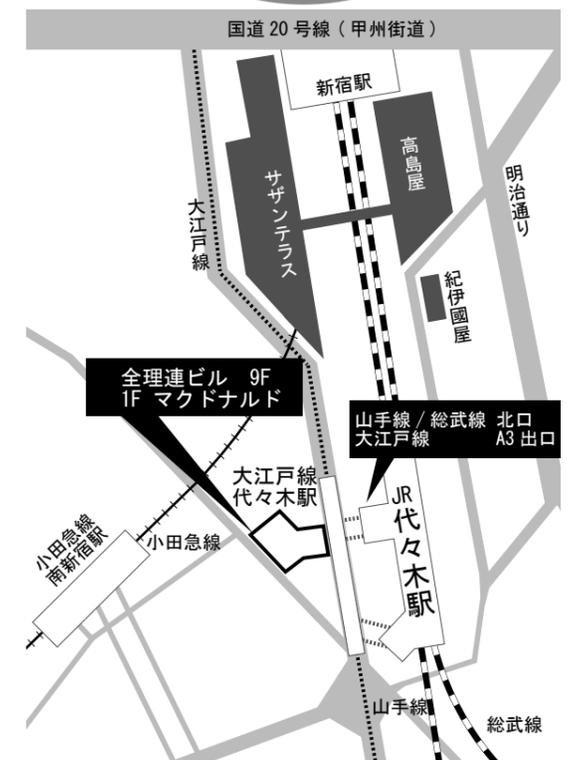
(1F がマクドナルドのビルです)

主催

東京都福祉保健局保健政策部

特定非営利活動法人メンタルケア協議会

参加登録制
定員 30 名
参加費不要



東京都 自殺防止のための電話相談技能研修 参加お申込み

フリガナ
お名前

年齢 歳 性別 男 ・ 女

ご住所

電話番号 FAX 番号

メールアドレス (原則として必須。添付ファイルも受け取れるものを)
@

受講票の送付や、受講時の必要連絡事項など、原則的にはメール (および添付ファイル) でのやりとりになりますので、ご注意ください。

2015 年度の相談業務に従事することが可能ですか? はい ・ いいえ

⇒ 「はい」の場合、履歴書中に勤務可能な曜日と時間帯を必ずお書きください。

※土日を含む一週間の曜日から、勤務可能な日をすべてご記入ください。

※勤務時間帯は [A]13:30～18:30, [B]18:00～22:30, [C]22:00～翌 6:00 です。

履歴書中に
保有資格・実務経験
を忘れずにご記入
ください。

受講希望する研修 (および受講日)

■現場研修の参加選択は、必ず一つ以上選択し、参加希望欄に○を書き入れてください。

■必修および参加希望する研修のうち実施日が複数ある研修は、参加可能な日付をすべて○で囲んでください。
人数調整のため、こちらで参加日を決定させていただき、受講票に記載してお知らせいたします。

研修内容	実施日	時	場所	必修	参加	単位	
講義	①自殺とは	1/24 土	13:30～19:00	必修	可・不可	1	
	②若者を支援する	1/25 日	13:30～19:00	必修	可・不可	1	
	③相談の基本を身に着ける	2/1 日	13:30～19:00	必修	可・不可	1	
グループ ロール プレイ	①自殺の相談対応	2/8 日	13:30～18:00	必修	可・不可	1	
	②他機関へ繋ぐ	2/22 日 3/21 土・祝	13:30～18:00	必修	可・不可	1	
	③相談を受けとめる	3/22 日 3/29 日	13:30～18:00 13:30～18:30	必修	可・不可	1	
現場 研修	①東京夜間こころの電話相談	2/3(火) 2/7(土) 2/9(月) 2/11(水) 2/16(月) 2/21(土)	18:00～21:00	現地	必修	可・不可	1
	②精神科救急医療情報センター	2/10 火 2/14 土 2/19 木 2/23 月	18:00～21:00	現地	選択	希望する	1
	③訪問看護ステーション	3/4 水 3/9 月 3/13 金 3/19 木	9:00～15:00	現地	選択	希望する	1
	④東京ダルク	3/3 火 3/6 金 3/11 水 3/12 木 3/16 月 3/18 水	水曜日 13:00-15:30 他 10:00-12:00	現地	選択	希望する	1

※東京ダルク現場研修は、タバコの煙が苦手な方はご遠慮ください。

研修日程

研修内容	研修テーマ	日	時	各論テーマ / 備考	講師	場所
I. 基礎知識 習得のための 講義 各1単位 すべて必修	①『自殺とは』	1/24(土)	13:30 - 13:45	開講式 今後の研修についてのお知らせ	羽藤 邦利	全理連ビル 9F
			13:45 - 15:15	講義 1 自殺とは何か、自殺防止の支援者のための交流分析	白井 幸子	
			15:30 - 15:45	質疑応答		
			15:45 - 17:00	講義 2 自殺の起こる過程について	羽藤 邦利	
			17:15 - 17:30	質疑応答		
			17:30 - 18:45	講義 3 背景となる家族・夫婦・親子の問題	中村 伸一	
			18:50 - 19:00	質疑応答		
	②『若者を支援する』	1/25(日)	13:30 - 14:30	講義 1 若者同士の支え合いから見えるもの	石井 綾華	
			14:40 - 15:40			
			15:50 - 16:00	質疑応答		
			16:00 - 17:10	講義 2 就労移行支援、障害者就労・生活支援センターの役割	小林 由美子	
			17:20 - 17:30	質疑応答		
	③『相談の基本を身に着ける』	2/1(日)	17:30 - 18:40	講義 3 東京しごとセンターのサービスと若者の相談	堀切 知子	
			18:50 - 19:00	質疑応答		
			13:30 - 16:30	講義+ワーク 援助の土台となるコミュニケーションスキルトレーニング	堀越 勝	
			16:45 - 17:00	質疑応答		
			17:10 - 19:00	ロールプレイとグループワーク		
	II. グループ ロール プレイ 各1単位 すべて必修	①自殺の相談対応 (模擬事例検討とロールプレイ)	2/8(日)	13:30 - 18:00		
②他機関へ繋ぐ (ケース検討とロールプレイ)		2/22(日) 3/21(土・祝)	13:30 - 18:00	※ 2/22, 3/21 のどちらか一日に参加	荒井 澄子 國吉 淨子 西村 由紀	
③相談を受けとめる (ロールプレイとグループ)		3/22(日) 3/29(日)	13:30 - 18:00	※ 3/22, 3/29 のどちらか一日に参加	飯島 睦子 内藤 武 西村 由紀	
			18:00 - 18:30	閉講式	羽藤 邦利	
III. 現場研修 各1単位 ①は必修、 ②～④は 選択	①東京夜間こころの電話相談	2/3(火) 2/7(土) 2/9(月) 2/11(水) 2/16(月) 2/21(土)	18:00 - 21:00	電話相談対応の基本(レクチャー) 相談の陪席 (いずれか1日に参加)	荒井 澄子 会田 敏子 西村 由紀	相談室
	②東京都精神科救急医療 情報センター	2/10(火) 2/14(土) 2/19(木) 2/23(月)	18:00 - 21:00	センター業務の説明、相談の陪席、 精神科救急対応の基本(レクチャー) (いずれか1日に参加)	救急相談員 西村・竹部	相談室
	③多摩在宅支援センター円・元 (訪問看護ステーション)	3/4(水) 3/9(月) 3/13(金) 3/19(木)	9:00 - 15:00	訪問看護の実態について(レクチャー) 訪問の同行 (いずれか1日に参加)	寺田 悦子	ステーション 訪問対象者宅 (立川または八王子)
	④東京ダルク	3/3(火) 3/6(金) 3/11(水) 3/12(木) 3/16(月) 3/18(水)	水曜日 13:00-15:30 他 10:00-12:00	ダルクの活動について(レクチャー) 自助グループミーティングへの参加 (いずれか1日に参加) ※タバコの煙が苦手な方はご遠慮ください。	幸田 実	東京ダルク
	⑤自殺相談ダイヤル	3月下旬(全4回)	13:00 - 19:00	※次年度採用予定の方のみ。	西村 由紀	相談室

講師・団体紹介 (50音順)

会田 敏子 (あいだ・としこ)

元多摩総合精神保健福祉センター／東京都の保健所などで保健師として38年間勤務。母子・成人・精神保健などの地域保健活動を実践。とくに精神保健に関しては、地域の対応困難事例を専門に担当する精神専任保健師として活動。夜間電話相談はその活動の一部。

荒井 澄子 (あらい・すみこ)

メンタルケア協議会理事／元南多摩保健所／東京都に39年間勤務。検診機関保健師(がん検診センター)、職域保健師(衛生局、総務局)、福祉保健局本庁(精神保健福祉課)、地域保健師(3つの保健所)など。

飯島 睦子 (いじま・むつこ)

東京いのちの電話 研修委員／立教大学学生相談所非常勤カウンセラー

石井 綾華 (いしい・あやか)

NPO Light Ring 代表理事／大正大学人間学部人間福祉学科卒業。在学時に任意団体こころの病予防プロジェクト a.light (アライト) を設立、現在 a.light を法人化した NPO 法人 Light Ring. の代表理事を勤める。

大下 隆司 (おおしも・たかし)

メンタルケア協議会理事／代々木の森診療所院長／神戸大学医学部卒業。社会人経験後、医学部に入りなおし、精神科医となる。神戸大学病院、都立墨東病院、明石土山病院、東京女子医科大学病院に勤務。H24年4月より代々木の森診療所院長。

國吉 淨子 (くによし・きよこ)

メンタルケア協議会理事／元都立中部総合精神保健福祉センター／S52～東京都勤務。松沢病院。多摩総合、中部総合精神保健福祉センターなど。

幸田 実 (こうた・みのる)

東京ダルク・ダルクホーム施設長／ダルクは薬物依存症者に共同生活の場を提供し、薬物を使わない生き方のプログラムを実践することによって、回復を支援する。回復していくための場、時間、回復者モデルを提供し、ナルコティクス アノニマス (NA) の12ステップに基づいたプログラムによって新しい生き方の方向付けをし、各地の自助グループにつなげていく。

小林 由美子 (こばやし・ゆみこ)

多摩棕櫚亭協会理事／多摩棕櫚亭は1986年に精神病院の職員たちが中心となって精神障害者の地域生活を支えるために設立され、現在「就業・生活支援センター オープナー」「就労移行支援事業所ピアス・分場トゥリニテ」「地域活動支援センターなびい」「地域活動支援センター 棕櫚亭I」を運営している。

白井 幸子 (しらい・さちこ)

ルーテル学院大学 名誉教授／青山学院大学、フルブライト交換留学生、エール大学神学部卒業。ヴァージニア州立大学病院チャプレン(病院付牧師)、「東京いのちの電話」主事を務めた後、国立療養所多摩全生園でカウンセラーとして20余年働く。

竹部 友子 (たけべ・ともこ)

メンタルケア協議会電話相談員／代々木の森相談センター

寺田 悦子 (てらだ・えつこ)

NPO 法人多摩在宅支援センター円(えん) 理事長／当法人は居宅介護サービス事業、共同生活援助事業、相談支援事業など「在宅での支援を必要とする高齢者・障がい者・傷病者等がその人らしい豊かで多様な生活ができるよう応援する」を理念に掲げ、多摩地域で各種事業を展開している。特に、精神障がい者へのニーズに込込しているのが特徴である。居宅介護サービスとしては訪問看護ステーション円、訪問看護ステーション元(げん)。共同生活援助事業にはグループホーム櫻の杜ハウス、グループホームくぬぎの杜がある。相談支援事業には地域活動支援センター連(れん)がある。

内藤 武 (ないとう・たけし)

メンタルケア協議会理事／元立教大学学生相談所インターカー／「東京いのちの電話」土曜医療面接員、ロンドン滞在中(H3年～H4年)「Samaritans(自殺予防電話相談)」の日本語ラインの相談員などを担当し、現在は「埼玉いのちの電話」の研修に従事。

中村 伸一 (なかむら・しんいち)

中村心理療法研究所／順天堂大学医学部卒業。精神科医として家族療法を中心に実践を重ね、1989年東京・本郷に中村心理療法研究室を開設、現在に至る。現在日本家族研究・家族療法学会副会長、アジア家族療法アカデミーフェロー、米国家族療法アカデミー正会員。

西村 由紀 (にしむら・ゆき)

メンタルケア協議会理事／東京都精神科救急情報センター、東京夜間こころの電話相談、東京自殺相談ダイヤルの立ち上げと運営に携わる。精神保健福祉士。

羽藤 邦利 (はとう・くにとし)

メンタルケア協議会理事長／S42京大医学部卒。富士病院、東京都立松沢病院を経て、S58代々木の森診療所開設。H2年1月より代々木の森診療所院長。H24年4月より同診療所理事長。専門：臨床精神医学一般。

堀切 知子 (ほりきり・ともこ)

株式会社インテリジェンス／国家公務員として官公庁に勤務した後、資格試験学校講師、キャリアコンサルタントとして主に若年者の就労支援に携わる。現在は株式会社インテリジェンスに所属し、東京しごとセンターヤングコーナーのキャリアアドバイザーとして活動中。社団法人日本産業カウンセラー協会認定 キャリア・コンサルタント国家資格キャリア・コンサルティング技能士2級。

堀越 勝 (ほりこし・まさる)

国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター 研修指導部長／米国・バイオラ大学大学院卒業。米国ミネソ・マイヤー・クリニック(サイコセラピスト)、米国ケンブリッジ病院行動医学プログラム、ハーバード大学医学部精神科上席研究員、マサチューセッツ総合病院・強迫性障害研究所(スタッフセラピスト)、筑波大学大学院人間総合科学研究科(講師)、駿河台大学心理学部教授を経て、現職。

森川 すいめい (もりかわ・すいめい)

みどりの杜クリニック／精神科医師。鍼灸師。独立行政法人国立病院機構・久里浜アルコールセンターに勤務し依存症患者等と向き合いつつ、埼玉の病院で緩和医療を学んだ。H15ホームレス支援のためのNGO「TENOHASU」を立ち上げ(その後H20にNPO法人化)、代表として東京・池袋で炊き出しや医療相談などを行う。